

Rotary 週報

第2660地区

The Rotary Club of OSAKA-WEST

大阪西ロータリークラブ

創立 昭和32年6月4日

事務局 大阪市北区梅田1丁目1番3号
大阪駅前第3ビル30階(〒530-0001)
電話 06-6348-8436 ファックス 06-6347-4556
ホームページ <http://www.osaka-westrc.org>
メール office@osakawestrc.org
例会日 毎週月曜日 12時30分
例会場 ヒルトン大阪
会場電話 06-6347-7111

会長 村上 正
幹事 島居 俊彦
会報委員会 嶋井 敬司

4つのテスト われわれがものごとを考え、言い、また為そうとする場合はこれに照合してから。
I 真実かどうか。II みんなに公平か。III 好意と友情を深めるか。IV みんなのためになるかどうか。

ロータリーは機会の扉を開く

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

ホルガー・クナーク

No 2506 2021年2月15日

本日のお知らせ

政府より発出されました新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の延長を受け、休会といたします。

◆ 第3回クラブアセンブリー 開催延期

第3回クラブアセンブリーは3月22日に開催延期といたします。

◆ 被選理事会開催

13:15より、ZOOMによるWEB会議にて開催致しますので、次年度理事・役員の方はご出席ください。

次例会(2月22日)のお知らせ

政府より発出されました新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の延長を受け、休会といたします。

◆ メンバー・スカウティング・ユニット(MSU) 第7回会合開催

13:00より、ZOOMによるWEB会議にて開催致しますので、ユニットリーダーはご出席ください。

前例会(2月8日)の報告

政府より発出されました新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の区域変更を受け、休会といたしました。

◆ ニコニコ箱(2月8日~11日分)

- ニコニコ協力。 明石 晃 君
- ニコニコ協力。 小島 崇宏 君
- 誕生日自祝。 松坂 英孝 君
- 早く例会が再開されて、皆様とお会い出来ます事を願っております。 根本 竜司 君
- コロナ終息を願う。 三枝 輝行 君
- 皆さん、お元気ですか? 田中 義久 君
- ほうせんかコロナセンターの立ち上げに奮闘しております。(軽症及び中等症の新型コロナウイルス感染症患者の入院受入れ) 谷田 誠 君

ニコニコ箱(2月8日~11日分)

クラブ・ニュース

- ◆ RI 会長エレクトが2021-22年度の会長テーマを発表
人のために世話をし、奉仕することが最良の生き方。
なぜなら、その経験を通じて誰かの人生だけでなく、

自分の人生を豊かにできるのだから……。国際ロータリーの次期会長であるシェカール・メータ氏はこう述べ、奉仕プロジェクトへの参加を会員に呼びかけました。

カルカッタ-マハナガル・ロータリークラブ（インド、西ベンガル州）に所属するメータ氏は、ロータリー国際協議会中の2月1日、次期地区ガバナーに向けて2021-22年度の会長テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を発表しました。地区ガバナーエレクトを研修するための年次行事である国際協議会は当初、オランダ（米国フロリダ州）で開催予定でしたが、新型コロナウイルス流行のためバーチャル（オンライン）で開催されました。ロータリーでの奉仕プロジェクトへの参加を通じて自身が人間として成長したことに触れたメータ氏は、その経験を通じてほかの人のニーズに目を向けるようになったと述べました。クラブ入会後まもなく、メータ氏はインドの僻村を支援するプロジェクトに参加しました。

そこで村人たちの状況を目にしたことで、奉仕への決意が固まりました。「同胞たちが抱える苦境を真に理解しました」とメータ氏は語ります。

その後も、子どもへの義肢の寄贈、家庭への安全な水と衛生設備の提供、地域の医療施設の改善など、数々の取り組みに参加しました。

「ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを超えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました」とメータ氏。「奉仕が私の生き方となったのです。多くの方々と同じように、“奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である“という信条を持つようになりました」メータ氏は、次期ガバナーに対し、次年度に自らが模範となって導き、測定可能・持続可能なインパクトをもたらす奉仕プロジェクトへの会員の参加意欲を引きだすよう呼びかけました。また、各クラブが「ロータリー奉仕デー」を実施することを求めました。

「ガバナーとしての役目が終わるとき、皆さんは、ご自身のリーダーシップ、ご自身がロータリアンとローターアクトに与えたインスピレーションのおかげで、会員による奉仕を通じて世界が前よりもよくなったと感じるはずですよ」

メータ氏は、2021-22年度には会員が女子のエンパワメントに力を注ぎ、教育、リソース、奉仕、機会

など、未来の女性リーダーの成功に必要な手段を与えてほしいと述べました。その上で、多様性、公平さ、開放性に対するロータリーの信念を会員が活動の指針とすることが大切であると語りました。

「世界各地で女子は多くの問題に直面しており、リーダーである皆さんは、こうした女子が抱える問題にロータリーが取り組み、それを和らげるように導くことができます」

奉仕を通じて大きなインパクトをもたらすには、ロータリーの会員基盤を広げる必要がある、とメータ氏。全世界の会員数は、過去20年間、約120万人のまま横ばいです。このため、2022年7月1日までに130万人に増やすことを目指して地区で率先して活動するよう、次期ガバナーに呼びかけました。メータ氏の「Each One, Bring One」（みんなが一人を入会させよう）は、今後17カ月間、全会員がロータリーに一人を入会させることを求めるイニシアチブです。

会員基盤を広げながら、ポリオ根絶活動、新型コロナウイルスとの闘い、地域社会への奉仕を続けていくのは野心的な目標であることを認めた上で、「だからこそ皆さんの意欲が駆り立てられるでしょう」とメータ氏。「挑戦に立ち向かうのがロータリアンだからです」



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

(My ROTARY より)

◆ 2021-22 年度地区委員会出向者ご報告

2021-22 年度地区委員会出向者が決定いたしましたのでご報告いたします。

ローターアクト委員会 委員	木村 友昭 君
公共イメージ向上委員会 委員	安積 寛 君
ロータリー財団委員会	
資金推進小委員会委員長	明石 晃 君
RYLA 委員会 副委員長	栗村 卓家 君
職業奉仕委員会 委員	近藤 太郎 君
青少年交換委員会 委員	養父 豊 君